

浜松町館

産業貿易センター浜松町館 指定管理者一次評価

大項目	項目	確認項目	評価基準								
			●水準を上回る＝達成度:概ね110%以上 ●水準どおり ●水準を下回る＝達成度:概ね90%以下 ※定性的な指標は、事業目的に合致する効果的な取組を新規で行った場合は、水準を上回る。 適正に実施した場合を水準どおり。事故・協定違反が発生した場合を水準を下回る。								
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
		施設・設備の保守点検(内容・回数等) ・定期点検及び保守等	×1		○		様式6 建物管理業務実績 実地検査	16項目	16項目		・都の実地検査により状況を確認(4月23日)
		施設の清掃(施設の清潔さ)及び警備 ・床清掃(毎日)ほか ・警備人数	×1		○		様式6 建物管理業務実績 実地検査	4項目	4項目		・都の実地検査により状況を確認(4月23日)
		人員配置(配置数、配置箇所、専門性等) ・事業責任者の配置ほか(名)	×1		○		様式1 事業報告 1(1)	12名	12名		・館長以下12人体制 ・館長の下に各グループに課長代理を置き全職員を一元的に指揮 ・派遣職員1人追加し職員のライフワークバランスを充実
		人材育成の取組(各研修参加、訓練実施)	×1		○		様式1 事業報告 1(2)①②	研修体系の確立及び関係資格取得支援、多様なノウハウの維持継承	実施		・利用者の多様化に対応するため、「タイバーシティ対応研修」を実施(参加人数4人) ・インボイス制度開始に伴い専門家(公社顧問税理士)による説明・相談会開催(参加人数8人)
		法人組織としての指定管理業務への関与 ・本社との連携体制の構築 ・戦略会議によるセンターの効用最大化	×1		○		様式1 事業報告 1(4)	産業貿易センター戦略会議の設置、本社からの支援機能の確立	実施		・各課の利用促進、都内事業協同組合などに誘致営業。(利用実績:公社事業3件、関係機関22件) ・公社幹部と産業貿易センター職員が出席する戦略会議開催(3回) ・職員欠員時に台東館職員の応援(応援職員用のマニュアル等も整備) ・相談希望者と公社人材支援課をつなぐ体制整備
		提案事業等の実施 ・施設利用者の準備作業等の調整	×2		○		様式1 事業報告 4(1)②	利用者間の調整	実施		・「利用の手引き」配布 ・「荷物用エレベーター調整表」配布及び掲示の徹底 ・「入車証」による出入りチェックで混雑の防止・緩和
		利用者の平等利用への取組 (定期優先受付・随時受付)	×1		○		様式1 事業報告 4(1)①	定期優先受付・随時受付	実施		・定期順位別申込制度による受付は中小企業利用率54.2%。 ・利用希望日程を第3希望まで聴取し、台東館との連携により取りこぼし回避
		民間複合施設との連携 ・民間複合施設との連携による利便性の向上	×1		○		様式1 事業報告 4(3)①、 (3)③	利用者の利便性向上に向けた取組等	実施		・東京ビッグサイトと相互PR等について意見交換

		地域や地元住民との良好な関係の構築	× 1		○		様式1 事業報告 5(4)	地元自治体との連携、地域や地元住民への取組	実施	・竹芝地区まちづくり協議会主催「ちよっと先のおもしろい未来2023」への協力 ・「採れたてはちみつの採蜜体験」、「竹芝打ち水大作戦2023」へ参加 ・港区産業振興センターとチラシの相互配架、区内中小企業向けセミナー共催 ・港区・品川区シルバー人材センターと清掃作業等の協議。	
		<評価理由> 法人上層部との戦略会議、職員の応援、ノウハウの共有など法人から様々な組織的な支援を行っている。					<備考>				

法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか									
	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
	個人情報保護、情報公開の取組及び利用記録等各種情報の管理・情報の適正管理等	× 1		○	様式1 事業報告 5(1)① 実地検査	適正管理	実施		・都の実地検査により状況を確認(4月23日)	
	環境配慮への取組	× 1	○		様式1 事業報告 5(3)	環境保全への配慮	実施		・利用者へのゴミ削減依頼により稼働率上昇に反しゴミ発生量減少(R5:12.8t R4:13.4t) ・紙使用量は対前年度25.1%減	
	手続のデジタル化	× 2		○	様式1 事業報告 2(2)①②	手続のデジタル化	実施		・基幹システム・WEBシステムのクラウド化の予備調査実施 ・マイページによる申請手続の促進	
	各種法令の遵守及び都への報告・連絡	× 1		○	様式1 事業報告 5(1)①	迅速に対応	実施		・インボイス制度のQ&A作成、適宜本社経理担当との情報共有で対応	
	<評価理由> ゴミ削減や紙使用量の削減など環境対策に取り組んでいる。				<備考>					

管理状況	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		施設設備の安全性の確保 ・適切な工事、修繕の実施	× 2		○	様式1 事業報告 5(1)② 様式6 建物管理業務実績 様式7 工事・修繕実績 実地検査	日常点検の実施、清掃の徹底、適切な修理・修繕の実施等	実施		・都の実地検査により状況を確認(4月23日)	
		防災、防犯への配慮及び緊急時対策 ・自主防災組織の設置と定期訓練 ・防災マニュアルの改訂と周知 ・警備体制の確保・避難誘導の体制づくり	× 1		○	様式1 事業報告 5(2)(3)	事故防止対策及び初動対応、被災時の安全対策	実施		・「一時帰宅困難者対応マニュアル」による受入訓練の実施 ・防災担当者会議等により、消防(芝消防署)、警察(愛宕警察署)と連携	
		施設・設備管理に関する書類等の管理 ・業務報告(警備、清掃、設備)の作成(毎日)	× 1		○	実地検査	—	適正に実施		・都の実地検査により状況を確認(4月23日)	
		<評価理由> 施設設備の安全性を確保し、防災対策も適切に実施している。				<備考>					

財務・財産の状況	適切な財務運営・財産管理が行われているか										
	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項		
	×2	○			様式1 事業報告 3(1) 様式2 事業収支 様式3 経営状況分析指標	・利用料金収入 434,830千円	・利用料金収入 568,658千円	130.8%	・利用料金収入は目標達成 ・夜間催事への臨機応変なシフトにより人件費削減 ・台東館との共同契約によるコスト削減 ・ペーパーレス化による事務費削減		
	×1		○		実地検査	—	適正に実施		・都の実地検査により状況を確認(4月23日)		
	×1		○		様式12 物品整理簿 様式13 購入物品整理簿、 実地検査	—	適正に実施		・都の実地検査により状況を確認(4月23日)		
<評価理由> 利用料金収入は達成率130.8%であり、目標を上回る実績である。					<備考>						
事業効果	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		×2	○			様式1 事業報告 3(1) 様式8 利用実績	1日(9-21時) 50.2%	1日(9-21時) 64.2%	127.9%	・WEBリスティング広告、関係機関、金融機関、イベント会社等への営業により新規利用率が3割超 ・就職説明会など、比較的準備期間が短い利用者への利用促進	
		×1	○			様式1 事業報告 3(1) 様式8 利用実績	1日(9-21時) 184.3日	1日(9-21時) 241.9日	131.3%	同上	
		×2		○		様式1 4(1)① 様式9 展示室受付順位別 利用実績	55.0%	54.2%	98.5%	・全催事の54.2%が中小企業主催	
	×2	○			様式1 事業報告 2(2)	販路開拓支援、新規展示会の誘致強化	実施		・高速インターネット専用回線サービス開始(R5実績:53件) ・マイページによる申請手続の促進<再掲> ・1階商談スペースにWi-Fi環境整備 ・大型スクリーン対応の高精度プロジェクター導入(4台) ・3階メインエントランスに案内看板設置 ・3階ホワイエに個室型テレワークブース設置(2台)		
<評価理由> 展示室の稼働率は、達成度127.9%、会議室の利用状況は達成度118.2%と、目標を上回る実績である。					<備考>						
サービス内容	事業内容、職員対応等について、利用者の反応はどうか										
	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項		
	×2		○		様式1 2(4)②、5(3)	自主企画催事の開催	実施		・「ビジネスマッチングin東京」開催(公事業)(2回) ・海外人材育成をテーマとした経営力向上セミナーを開催(港区共催)(28名参加)		

	の 向 上		サービス向上に向けた取組 ・利用者ニーズの把握 ・サービス向上の検討及び情報共有体制 ・搬出入効率化の推進	×2		○		様式1 4(1)②、(2)②、(3)①	利用者要望を的確に把握、要望等をサービス向上に活かす取組	実施		・台東館と共通のQRコードによる来場者アンケート開始 ・台東館とQ&Aや課題の共有
事業 効果	サービス 内容の 向上		特色ある事業の実施 ・利用者へのサポート、展示商談会のコーディネート等	×1		○		様式1 事業報告 2(1)①②	展示会や会議室等のトータルサポートの強化	実施		・「主催者用マニュアル」等を活用したイベント業務管理士によるアドバイス
			利用者サービスに資する自主事業の取組 ・備品類の充実、備品貸出サービス等の事業実施	×1		○		様式1 事業報告 2(4)①	備品貸出サービス等の提供	実施		・3階ボワイエに個室型テレワークブース設置(2台)＜再掲＞ ・多言語音声翻訳機器(ポケトーク)導入(2台) ・高速インターネット専用回線サービス導入＜再掲＞ ・高精度プロジェクター導入(4台)＜再掲＞ ・オンライン映像配信機器を導入(R6貸出開始)
			利用者の満足度(利用者アンケート)	×2		○		様式4 利用者アンケート結果	アンケートの実施	大変満足・満足・どちらかと言えば満足計97.7%		・配布480件 ・回収349件(回収率72.7%)
			質の高いサービス提供のための提案 ・バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮、外国語対応の推進	×2		○		実地検査	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮等	実施		・多言語音声翻訳機器(ポケトーク)導入(2台)＜再掲＞ ・筆談ボード設置や遠隔手話通訳サービスの案内 ・ピクトグラムによる案内表示 ・3階メインエントランスの案内看板設置
			苦情等への対応 ・現場指導、調整及び注意喚起の実施	×1		○		様式1 事業報告 4(2)①② 様式5 事故・故障対応一覧	苦情などへの対応	実施		・苦情は朝礼や基幹システム掲示板で迅速に情報共有 ・CS会議(毎月)において「苦情・要望」に対処
			＜評価理由＞ 利用者満足度が97.7%と利用者から高い評価を得ていることや、新たな設備や備品の導入による利用者サービスの向上への取り組んでいる。					＜備考＞				

合計点		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	計
		配点×1	2点×3項目	1点×16項目	0点×0項目	22点
		配点×2	4点×5項目	2点×6項目	0点×0項目	32点
		計	26点	28点	0点	54点
一次評価結果	得点54点	標準点 1点×19項目 2点×11項目	S (55点以上)	A (52～54点)	B (37～51点)	C (36点以下)
	A	41点	55点以上	54点以下 52点以上	51点以下 37点以上	36点以下

特 記 事 項	(特に評価すべき点)
	・ペーパーレス化により紙使用量は対前年度25.1％減、利用者へのゴミ削減依頼によりゴミ発生量減少 ・収支状況について、利用料金収入は計画値に対し達成率130.8％ ・稼働率は、計画値に対し、展示室は達成率127.9％、会議室は達成率131.3％ ・個室型のテレワークブース設置、高速インターネット専用回線サービス、高精度プロジェクター導入などによる利用促進及び利用者サービス向上 ・利用者満足度が97.7パーセント ・多言語音声翻訳機器(ポケトーク)、筆談ボード、遠隔手話通訳サービス案内、ピクトグラム案内表示、メインエントランス案内看板など質の高いサービス

台東館

産業貿易センター台東館 指定管理者一次評価

大項目	項目	確認項目	評価基準								
			●水準を上回る＝達成度：概ね110%以上 ●水準どおり ●水準を下回る＝達成度：概ね90%以下 ※定性的な指標は、事業目的に合致する効果的な取組を新規で行った場合は、水準を上回る。 適正に実施した場合を水準どおり。事故・協定違反が発生した場合を水準を下回る。								
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
		施設・設備の保守点検(内容・回数等) ・定期点検及び保守等 (事業計画に定める回数・項目)	×1		○		様式6 建物管理業務実績 実地検査	26項目	26項目		・都の実地検査により状況を確認(4月23日)
		施設の清掃(施設の清潔さ)及び警備 ・床清掃(毎日)ほか、(項目) ・警備人数(人/月)	×1		○		様式6 建物管理業務実績 実地検査	5項目 105人/月	5項目 112人/月		・都の実地検査により状況を確認(4月23日)
		人員配置(配置数、配置箇所、専門性等) ・事業責任者の配置ほか、(名)	×1		○		様式1 事業報告 1(1)	14名	14名		・館長以下14人体制で運営
		人材育成の取組(各研修参加、訓練実施)	×1		○		様式1 事業報告 1(3)①②	研修体系の確立及び関係資格取得支援、多様なノウハウの維持継承	実施		・インボイス制度開始に伴う専門家相談会開催(5名) ・新規採用者向けの業務マニュアルをリニューアル
		法人組織としての指定管理業務への関与 ・本社との連携体制の構築 ・戦略会議によるセンターの効用最大化	×1		○		様式1 事業報告 1(4)、2(1)①	産業貿易センター戦略会議の設置、本社からの支援機能の確立	実施		・公社幹部と産業貿易センター職員による戦略会議開催(3回) ・契約事務等の知識を有する課長代理を配置し、本社との連携による契約事務の適正化 ・公社で実施するコンプライアンス研修、情報セキュリティ研修、経理研修等に参加 ・公社メルマガ、機関紙「アーガス」による広報
		提案事業等の実施 ・施設利用者の準備作業等の調整	×2		○		様式1 事業報告 4(4)	利用者間の調整	実施		・搬入物形状等のガイドラインを含む「利用の手引き」を配布 ・搬出入調整会議による混雑緩和 ・都施工のエレベータ改修工事にあたり、工事業者と調整し催事開催への障害を回避
		利用者の平等利用への取組 (定期優先受付・随時受付)	×1	○			様式1 事業報告 4(1)(3)②	定期優先受付・随時受付	実施		・定期順位別申込制度により都内中小企業・団体の申し込みを優先受付(中小企業利用率 65.18%) ・各利用申請方法、調整方法、予約状況等をホームページに公開
		他機関等との連携 ・区民会館との連携による利便性の向上	×1		○		様式1 事業報告 2(2)④	台東区民会館と浜松町館との連携による利便性向上	実施		・利用形態等に応じ台東区民会館利用を提案 ・台東館施設設備では難しい催事は浜松町館を紹介 ・浜松町館の予約がとれない利用者の受入
		地域や地元住民との良好な関係の構築	×1	○			様式1 事業報告 5(3)	地元自治体との連携、地域や地元住民への取組	実施		・地元PR誌、チラシ等の設置、ポスターの館内掲載 ・台東区内の町おこしイベントに協力 ・商工会議所台東支部、浅草観光連盟等と定期的な情報交換 ・交通安全イベントなどで地元警察へ協力 ・地域イベント等への参加により、地域住民との良好な関係を維持 ・台東区が関与するNHK大河ドラマへの協力 ・近隣住民に迷惑の恐れがある大型催事については事前に情報提供

		<評価理由> 法人上層部との戦略会議、職員の応援、ノウハウの共有など法人から様々な組織的支援を行っており、また、地元・地域住民とも良好な関係を築いていることは、評価できる。				<備考>					
管理状況	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		個人情報保護、情報公開の取組及び利用記録等各種情報の管理 ・情報の適正管理等	×1		○		様式1 事業報告 4(3)① 実地検査	適正管理	実施		・都の実地検査により状況を確認(4月23日)
		環境配慮への取組	×1	○			様式1 事業報告 4(7)④	環境保全への配慮	実施		・4、5階フロア展示室照明のLED化 ・空調機用制御装置等による適切な温度調整 ・ペーパーレス化による紙使用量抑制
		手続のデジタル化	×2		○		様式1 事業報告 4(3)①ウ	手続のデジタル化	実施		・プロジェクトチームによるデジタル化箇所の洗い出し、基幹システム及びWEBシステムのクラウド化に向けた予備調査 ・マイページのレスポンス強化(2名配置)
		各種法令の遵守及び都への報告・連絡	×1		○		様式1 事業報告 4(3)① 実地検査等	迅速に対応	実施		・コンプライアンスマニュアル等の適宜改訂
	<評価理由> 省エネ等の環境対策に配慮し、積極的に取り組んでいる。				<備考>						
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		施設設備の安全性の確保 ・適切な工事、修繕の実施	×2		○		様式1 事業報告 5(1) 様式6 建物管理業務実績 様式7 工事・修繕実績	日常点検及び清掃の徹底、適切な修理・修繕の実施	実施		・入居団体、保守業者による建物総合管理情報交換会(月1回)
		防災、防犯への配慮及び緊急時対策 ・自主防災組織の設置と定期訓練 ・防災マニュアルの改訂と周知 ・警備体制の確保・避難誘導の体制づくり	×1	○			様式1 事業報告 5(2)	事故防止対策及び初動対応、被災時の安全対策	実施		・消防署と上級救命講習を実施 ・玩具人形協同組合と催事中の発災を想定した避難誘導訓練実施 ・「浅草地区観光客対応の一時帰宅困難者対策避難誘導訓練」参加
		施設・設備管理に関する書類等の管理 ・業務報告(警備、清掃、設備)の作成(毎日)	×1		○		実地検査等	—	適正に実施		・都の実地検査により状況を確認(4月23日)
		<評価理由> 施設設備の安全性を確保し、防災対策も適切に実施している。				<備考>					
	財務・財産の状況	適切な財務運営・財産管理が行われているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		収支状況(安定的な運営) ・利用料金収入	×2		○		様式1 事業報告 3(1)①③ 様式2 事業収支 様式3 経営状況分析指標	・利用料金収入 290,384千円	・利用料金収入 273,340千円	94.1%	・利用料金収入は達成率94.1% ・搬出待機時間短縮により時間外勤務費削減 ・展示室照明のLED化により電気料金削減
	経理処理(書類等の管理含む) ・経理の明確な区分、経理状況の明確化 ・帳簿、関係書類の整備、保存		×1		○		実地検査	—	適正に実施		・都の実地検査により状況を確認(4月23日)

状況	都有財産の管理 ・保全物品整理簿の整備	×1		○		様式12 物品整理簿 様式13 購入物品整理簿、 実地検査	—	適正に実施		・都の実地検査により状況を確認(4月23日)	
	<評価理由> 時間外勤務費削減、電気料金削減など経費削減を実施。					<備考>					
事業効果	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		展示室の利用状況(稼働率)	×2		○		様式1 事業報告 3(1)① 様式8 利用実績	1日(9-21時) 51.6% 【参考】 日中(9-17時) 60.0%	1日(9-21時) 42.1% 【参考】 日中(9-17時) 56.2%	1日 81.6% 【参考】 日中 93.7%	・達成率81.6%(9-21時)、93.7%(9-17時)
		会議室の利用状況(換算日数)	×1			○	様式1 事業報告 3(1)① 様式8 利用実績	1日(9-21時) 152.4日 【参考】 日中(9-17時) 198.0日	1日(9-21時) 124.9日 【参考】 日中(9-17時) 152.3日	1日 82.0% 【参考】 日中 76.9%	・達成率82.0%(9-21時)、76.9%(9-17時)
		施設設置目的の実施状況(中小企業利用件数等)	×2		○		様式9 展示室受付順位別 利用実績	60.0%	58.9%	98.2%	・全催事の58.9%が中小企業主催で達成率98.2%
		利用促進への取組 ・新規利用及びリピータの獲得	×2		○		様式1 事業報告 2(1)①～ ③、②②	新規展示会等の誘 致強化、施設の利 用案内ソールの充 実	実施		・各イベント情報のPR ①産貿センターHP ②公社メールマガジン ③公社機関紙「アーガス」への同封
	<評価理由> 展示室の稼働率は達成率81.6%(9-21時)、93.7%(9-17時)であり、また中小企業利用率は98.2%の達成率である。					<備考>					
サービス内容の向上	事業内容、職員対応等について、利用者の反応はどうか										
	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項		
	事業の企画、実施、成果 ・自主事業の実施(展示・商談会等) ・都の他施策との連動性、協調性等	×2	○			様式1 事業報告 2(3)①② ③	自主企画催事の開催、他の支援機関との共催事業	実施		・「東京くらしのフェスティバル2023」の開催(都内中小企業70社出展) ・衡立を各階に配置し利便性向上 ・ビジネスラウンジで無料Wi-Fiサービス提供	
サービス向上に向けた取組 ・利用者ニーズの把握 ・サービス向上の検討及び情報共有体制 ・搬出入効率化の推進	×2		○		様式1 事業報告 2(2)、 4(4)(6)	利用者要望を的確に把握、要望等をサービスに活かす取組等	実施		・「利用案内」を更新し、Webサイトから閲覧可 ・HPに主催者ページと来場者ページを設置、閲覧者のイベント検索機能を設け利便性向上 ・搬出入調整会議による混雑緩和 ・委託業者(警備員)との連携による搬出入車両誘導の円滑化		
	特色ある事業の実施 ・利用者へのサポート、展示商談会のコーディネート等	×1	○			様式1 事業報告 2(2)③	展示会や会議等のトータルサポートの強化	実施		・催事準備、搬出入、会場配置へのアドバイス強化 ・混雑時の荷物用EV誘導作業への補助 ・イベントサポート業者(設営、清掃、ケータリング等)の紹介 ・デジタルサイネージ(展示会PR) ・マイページ(展示会準備補助)の利用促進	

事業効果	サービス内容の向上		利用者サービスに資する自主事業の取組 ・備品類の充実、備品貸出サービス等の事業実施	×1	○			様式1 事業報告 2(3)㉔、4(7)㉔	備品貸出サービス等の提供	実施		・展示規模別の利用例や過去の使用実績によるアドバイス、不足備品の業者紹介等 ・ビジネスラウンジでの無料Wi-Fiサービス提供(再掲)
			利用者の満足度(利用者アンケート)	×2	○			様式4 利用者アンケート結果	アンケートの実施	大変満足・満足・どちらかと言えば満足計98.7%		・配布318件、回収151件、回収率47.5%
			質の高いサービス提供のための提案 ・バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮、外国語対応の推進	×2	○			様式1 事業報告 4(7)㉔㉕	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮等	実施		・利用案内・ウェブサイトにバリアフリー情報掲載 ・車椅子貸出、身障者用臨時駐車スペースの案内 ・重いす利用者用トイレ(オストメイト対応設備)運用 ・ウェブサイトに多言語化ページ提供(英語、中国語簡体字、韓国語) ・視覚障害者向け音声ガイド地図サービス(英語対応) ・帰宅困難者対応時に英語・中国語の案内を準備 ・聴覚障害者向けに難聴障害者用システム(公社支援商品)の放送設備配備 ・筆談ボード設置、「手話サービス」利用QRコード掲示
			苦情等への対応 ・現場指導、調整及び注意喚起の実施	×1		○		様式1 事業報告 4(5) 様式5 事故・故障対応一覧	苦情などへの対応	実施		・利用者(展示会等主催者)、来場者、近隣住民の苦情に適切対応
			<評価理由> 利用者満足度が98.7%と利用者から高い評価を得ており、また、利用者サービスの向上にも積極的に取り組んでいる。					<備考>				

合計点	52点	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	計
		配点×1	2点×6項目	1点×12項目	0点×1項目	24点
		配点×2	4点×3項目	2点×8項目	0点×0項目	28点
		計	24点	28点	0点	52点

一次評価結果	得点52点	標準点 1点×19項目 2点×11項目	S (55点以上)	A (52～54点)	B (37～51点)	C (36点以下)
	A	41点	55点以上	54点以下 52点以上	51点以下 37点以上	36点以下

特記事項	(特に評価すべき点)
	・定期順位別申込制度により都内中小企業・団体の申し込みを優先受付(中小企業利用率 65.2%) ・商工会議所台東支部・浅草観光連盟等の地域団体との定期的な情報交換、町おこしイベント等への協力 ・ペーパーレス化による紙使用量抑制、展示室照明のLED化、空調の適正化 ・消防署との上級救命講習、玩具人形協同組合と催事中の発災を想定した避難誘導訓練、一時帰宅困難者対策避難誘導訓練実施など ・「東京くらしのフェスティバル2023」を開催(都内中小企業70社出展)などの自主事業 ・衛立の各階配置による利用者の負担軽減などの利用者サポート ・デジタルサイネージ(展示会PR)、マイページ(展示会準備の補助)による利用促進 ・ビジネスラウンジでの無料Wi-Fiサービスの提供 ・利用者満足度が98.7パーセント ・ウェブサイト等への多言語化ページ掲載(英語、中国語簡体字、韓国語)、視覚障害者向け音声ガイド地図サービス(英語対応)、聴覚障害者向けに難聴障害者用システムの放送設備配備、筆談ボード設置、「手話サービス」利用QRコード掲示など

多摩産業交流センター指定管理者一次評価

大項目	項目	確認項目	評価基準									
			●水準を上回る＝達成度:概ね110%以上 ●水準どおり ●水準を下回る＝達成度:概ね90%以下 ※定性的な指標は、事業目的に合致する効果的な取組を新規で行った場合は、水準を上回る。適正に実施した場合を水準どおり。事故・協定違反が発生した場合を水準を下回る。									
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか										
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項		
		施設・設備の保守点検(内容・回数等) ・定期点検及び保守等	×1		○		様式6 建物管理業務実績 実地検査	-	実施		都の実地検査により実施状況を確認(4月25日)	
		施設の清掃(施設の清潔さ)及び警備 ・床清掃(毎日)ほか (項目) ・警備人数(人/月)	×1		○		様式6 建物管理業務実績 実地検査	-	実施		都の実地検査により実施状況を確認(4月25日)	
		人員配置(配置数、配置箇所、専門性等) ・事業責任者の配置ほか	×1		○		様式1 事業報告 1(1)	13名 (うち非常勤2名)	12名		センター長以下12人体制 ※ KSS:施設保全管理業務 19人	
		人材育成の取組(各研修参加、訓練実施)	×1		○		様式1 事業報告 1(2)	基礎研修および技術研修の実施	休場日に全7回の研修を実施		実際の業務に必要な知識を優先した研修を実施	
		組織としての指定管理業務への関与 ・本社との連携体制の構築 ・JV内の連携体制の構築による効用最大化	×1		○		様式1 事業報告 1(4)	本社と連携、JV内の連携体制の構築による効用最大化	実施		JCS株本社(MICE推進部、財務経理部、法務部、広報部等)が必要に応じてバックアップ並びにチェック	
		提案事業等の実施	×1		○		様式1 事業報告 2(2)①	利用者ニーズの高い備品の整備	実施		・電源ケーブル、HDMIケーブル、LANケーブルをセットにした「ケーブルセット」を備品追加 ・展示室用に30メートルケーブルのマイクを導入 ・展示パネル50枚追加 ・台車4台導入	
		利用者の平等利用への取組 (定期優先受付・随時受付)	×1		○		様式1 事業報告 4(1)①	定期優先受付・随時受付	実施		約30件の定期順位受付	
		他機関等との連携 ・東京都八王子合同庁舎及び八王子市保健所との連携による利便性の向上	×1		○		様式1 事業報告 5(2)⑤、 5(3)①②	他機関との連携マニュアルの確認	実施		現地機動班参集拠点の効率的運営のため一時滞滞在者運営マニュアル作成	
		地域や地元住民との良好な関係の構築	×1		○		様式1 事業報告 5(3)(4)	地域貢献活動、地元住民との良好な関係	実施		・住宅地近接のため、きめ細かな対応が必要 ・八王子駅周辺滞留者対策推進協議会へ加盟 ・八王子消防署・八王子警察署との情報共有 ・施設利用者車両による渋滞報告例なし	
<評価理由> 地域住民への配慮や他機関との連携など、適切に管理運営を行っている。					<備考>							

管理状況

法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
	個人情報保護、情報公開の取組 及び利用記録等各種情報の管理 ・情報の適正管理等	×1		○		実地検査等	適正管理	実施		・都の実地検査により実施状況を確認(4月25日)
	環境配慮への取組	×1		○		様式1 事業報告 3(2)③	環境保全への配慮	実施		・空調スケジュールによる細かいON・OFF設定 ・入居機関連去確認後の空調機切り忘れ確認
	手続のデジタル化	×2		○		様式1 事業報告 4(1)①	手続のデジタル化	実施		・キャッシュレス決済導入の検討
	各種法令の遵守及び都への報告・連絡	×1		○		実地検査等	迅速に対応	実施		都の実地検査により実施状況を確認(4月25日)
<評価理由> 環境への配慮や法令遵守など、必要な責務を適切に履行している。					<備考>					
安全性の確保	施設の安全性は確保されているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
	施設設備の安全性の確保 ・適切な工事、修繕の実施	×1		○		実地検査等	適切な工事・修繕の実施	実施		・都の実地検査により実施状況を確認(4月25日)
	防災、防犯への配慮及び緊急時対策 ・自主防災組織の設置と定期訓練 ・防災マニュアルの改訂と周知 ・警備体制の確保・避難誘導の体制づくり	×1		○		様式1 事業報告 5(2)(3)	自主防災組織の設置・訓練、防災マニュアルの策定、確実な避難誘導の体制づくり	実施		・防災関連マニュアル策定 ・防災訓練実施(2回) ・近隣複合施設『J:COMホール八王子避難訓練体験コンサート』参加 ・東京たま未来メッセに沿った一時滞在施設マニュアル作成 ・ITVカメラによる監視 ・不審人物の情報の共有
	施設・設備管理に関する書類等の管理 ・業務報告(警備、清掃、設備)の作成	×1		○		実地検査等	—	適正に実施		・都の実地検査により実施状況を確認(4月25日)
	<評価理由> 施設設備の安全性の確保や防災対策など適切に実施している。					<備考>				

管理状況	財務・財産の状況	適切な財務運営・財産管理が行われているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		×2	○			様式1 事業報告 3(2)①②③ 様式2 事業収支 様式3 経営状況分析指標	・利用料金収入 62,594千円	・利用料金収入 124,150千円	198.3%	・目標達成率198.3% ・空調、照明の細かい設定で光熱費削減 ・リピーター増で会議室利用増が顕著	
		×1		○		実地検査	—	適正に実施		・都の実地検査により実施状況を確認(4月25日)	
		×1		○		物品整理簿・実地検査	—	適正に実施		・都の実地検査により実施状況を確認(4月25日)	
<評価理由> 利用料金収入は達成率198.3%であり、目標を大きく上回る実績である。				<備考>							
事業効果	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		×2	○			様式1 事業報告 3(2)① 様式8 利用実績	20.0%	35.3%	176.5%	・目標を大きく上回る達成率(176.5%)	
		×2	○			様式1 事業報告 3(2)① 様式8 利用実績	20.0%	53.6%	268.0%	・目標を大きく上回る達成率(268.0%)	
		×2		○		様式9 展示室受付順位別 利用実績	60.0%	19.7%	32.8%	・達成率32.8%	
		×2	○			様式1 事業報告 2(3)	個別内覧開催など	実施		・学会誘致模索のため、京王プラザホテル、学園都市センター、東京たま未来メッセによる3施設合同内覧会実施(協力：八王子市、八王子観光コンベンション協会)	
		<評価理由> 展示室の稼働率は達成度176.5%、会議室の利用状況は達成度268.0%と、目標を大きく上回る高い実績である。				<備考>					
	事業内容、職員対応等について、利用者の反応はどうか										
	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項		
	×2	○			様式1 事業報告 2(2)②	自主事業実施	GW中のイベント等の実施		・「東京たま大恐竜博」開催(約4万人参加)(GW中) ・「東京たま未来メッセフェスタ」開催(7月)(東京都主催パネルディスカッションと共同開催)		

事業効果	サービス内容の向上	サービス向上に向けた取組 ・利用者ニーズの把握 ・サービス向上の検討及び情報共有体制 ・搬出入効率化の推進	×2	○		様式1 事業報告 4(1)②	利用者要望を的確に把握、情報共有体制の構築	実施		・時間帯を分けた搬入出の実施 ・コーディネーターの調整により、周辺道路の混雑回避
		特色ある事業の実施 ・利用者へのサポート、展示商談会のコーディネート等	×1	○		様式1 事業報告 2(1)	ホームページコンテンツの充実	実施		・ウェブサイトに主催者が利用できるフォトギャラリー追加 ・催事情報掲載(画像等)の充実 ・キッチンカー情報のSNS発信
		中小企業者、研究機関、大学等及び行政機関の協働による産業振興を目的とした研究及び事業の支援	×1	○		様式1 事業報告 3(1)①	産学・産産連携強化及び関連事業の実施	実施		・首都圏産業活性化協会と講師招聘など関係強化 ・大学コンソーシアム八王子の展示協力、共同内覧会 ・東京都立大や日野市の産学連携関連パネル展示
		広域的な産業交流を促進する事業の支援	×1	○		様式1 事業報告 3(1)②	広域連携のために各機関との関係強化及び関連事業の実施	実施		・埼玉県の産業支援施設建設計画調査へ協力 ・全国展示場連絡協議会ブロック会議にオブザーバー出席
		利用者サービスに資する自主事業の取組 ・備品類の充実、その他サービス等の事業実施	×1	○		様式1 事業報告 2(2)①	備品貸出サービス等の企画・準備	実施		・利用者ニーズに合わせた貸出メニューの充実
		利用者の満足度(利用者アンケート)	×2	○		様式4 利用者アンケート結果	アンケートの実施	大変満足・満足・どちらかといえば満足計100.0%		・回答数54件 ・回答比率は展示室利用者の約3割程度
		質の高いサービス提供のための提案 ・バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮、外国語対応の推進	×1	○		実地検査等	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮、外国語対応の推進	実施		・公式ウェブサイトに英語の簡易ページ掲載
		苦情等への対応 ・現場指導、調整及び注意喚起の実施	×1	○		様式1 事業報告 4(2)① 様式5	苦情などへの対応	実施		・近隣からの苦情は少しづつ減ってきている傾向
		<評価理由> 利用者満足度が100%と利用者から高い評価を受けている。広域的産業連携・中小企業振興関連の事業にも取り組んでいる。				<備考>				

		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	計
合計点	53点	配点×1	2点×2項目	1点×21項目	0点×0項目	25点
		配点×2	4点×6項目	2点×2項目	0点×1項目	28点
		計	28点	25点	0点	53点

一次評価結果	得点53点	標準点 23項目×1点 9項目×2点	S	A	B	C
	A	41点	55点以上	54点以下 52点以上	51点以下 37点以上	36点以下

特記事項	(特に評価すべき点)
	- 収支状況について、利用料金収入は、計画値の2倍近い実績を達成(198.3%) - 稼働率は、計画値に対し、展示室176.5%の達成率、会議室は268.0%の達成率 - 学会誘致模索のため、京王プラザホテル、学園都市センター、東京たまた未来メッセによる3施設合同内覧会を実施 「東京たまた大恐竜博」開催(約4万人来館)、「東京たまた未来メッセフェスタ」などの自主事業 - 利用者向けフォトギャラリーの開設や利用者ニーズの高い備品を整備し利用者をサポート - 首都圏産業活性化協会からの講師招聘など関係強化、東京都立大や日野市の産学連携関連パネル展示など、広域ネットワークを構築 - 利用者満足度が100パーセント

大項目	中項目	確認項目						評価				
		項目	内容	計画	(計画値参考)	実績(R5)	達成率	確認事項 ◎:報告書 ○:実地調査	配点	水準を上回る	水準とおり	水準を下回る
適切な管理の履行		協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか										
	1	施設・設備に関する保守点検及び書類の管理等	設備保守点検(電気・空調・消防・建設・下水設備等) 性能検査(ストレージタンク等) 各種測定(煤塵排出物等)等 業務報告書の管理	12回/年 外 1回/年 外 2回/年 外 毎日	指定管理者募集要項 別添特記仕様書(資料5)	12回/年 外 1回/年 外 2回/年 外 毎日	100%	◎	×1		○	
	2	施設の清掃	日常清掃 定期清掃(フロアー洗浄・ワックスがけ・ガラス等) 特別清掃(照明器具・メンテナンス等)等	隔日・随時 6回/年 外 1回/年 外	指定管理者募集要項 別添特記仕様書(資料5) 諸般業務仕様書	隔日・随時 6回/年 外 1回/年 外	100%	◎	×1		○	
	3	人員配置	相談員(就職支援アドバイザー等)等の配置	総合相談:6ブース ヤング:20ポスト ミドル:32ポスト 女性:5ポスト 多摩:12ポスト 女性しごと応援クラス多摩:2ポスト	年度協定	総合相談:6ブース ヤング:20ポスト ミドル:32ポスト 女性:5ポスト 多摩:12ポスト 女性しごと応援クラス多摩:2ポスト	100%	◎	×1		○	
	4	人材育成の取組	職層別研修 課題研修 実務研修	3回/年以上 4回/年以上 2回/年以上		職層別研修 12回 (新任職員研修、新任職員フォローアップ研修、社会経済事情研修、企画(改善)提案研修 他) 課題研修 4回 (接遇研修、接遇研修(新任職員向け)、情報セキュリティ・個人情報保護研修、メンタルヘルス研修) 実務研修 3回 (経営管理研修、キャリア・カウンセラー養成研修、普通救命講習) ※財団において主催したもののみ	400% 100% 150%	◎	×1	○		
		【特記事項】										
安全性の確保		施設の安全性は確保されているか										
	5	防災・防犯への配慮	消防設備保守点検等 避難訓練 施設内巡回点検	3回/年 1回/年 8回/日(月～土) 4回/日(日・祝日)	指定管理者募集要項 別添特記仕様書(資料5) 設備管理・保守業務仕様書 指定管理者募集要項別紙Ⅱ 4(3)	消防設備保守点検等:3回 避難訓練:1回(従来の訓練内容、避難経路及び自衛消防隊の役割を全職員及び入居機関へ周知。また、しごとセンタービルに初めて勤務した職員を対象に避難階段を実際に使用した訓練を実施。) 施設内巡回:10回/日(月～土)、4回/日(日・祝日)※改修工事中のフロアは除く。	100% 100% 125%	◎	×1	○		
	6	緊急時対策	緊急時連絡体制の整備 BCP等の整備	緊急時連絡体制の整備 BCP等の整備		緊急時連絡体制の整備 各階の避難経路がわかるように、各階に、避難経路図の掲示(継続)	—	◎	×1		○	
		【特記事項】 ○大規模改修工事による建物内部でのフロア移転に対応し、施設内巡回点検ルートの変更や利用者の誘導案内を行うだけでなく、工事定例金に出席して、改修工事を行っている場合でも災害発生時の安全確保について確認を行う等、防災及び防犯についての責任を認識し、積極的に取り組んでいる。年度末には、業務に支障をきたすことなく、事務機能の内部移転をおおむね完了させた。										
法令等の遵守		法令や条例等に基づく適切な管理運営が行われているか										
	7	個人情報保護の取組	個人情報保護管理責任者の設置 情報セキュリティ研修の実施 データアクセスのID制御の実施 個人情報保護場所の施錠	規定に基づく設置 研修:1回/年 ID制御の実施 施錠	基本協定	「個人情報保護に関する規程」「個人情報保護基本方針」に基づき、個人情報保護管理責任者及び個人情報取扱責任者を設置 情報セキュリティ・個人情報保護研修:1回 ID制御及び施錠の実施	100%	◎	×2		○	
	8	情報公開の取組	情報公開(主要事業指標、財務指標)の実施	事業報告:1回/年 財務指標:1回/年	「監理団体の経営の透明性の向上について」18総行革監第33号	事業報告の公開:1回 財務指標の公開:1回	100%	◎	×1		○	
	9	環境配慮への取組	資源リサイクルの実施 省エネルギー対策の実施	ゴミ分別の徹底 電力使用量削減の取組		ゴミ分別の徹底 送風設備、空調機器の細かな運転調整、LED照明の導入等 ※電気使用量の平成22年度比(震災発生前年) 37%減	—	◎ ○	×1		○	
	10	手続のデジタル化	貸出施設の利用手続 事業実施におけるオンライン対応	利用予約、申請手続のデジタル化 事業のオンライン対応(セミナー・面接対策・センター登録等)		利用予約、申請手続のデジタル化 事業のオンライン対応(セミナー・面接対策・センター登録等)	100%	◎	×1		○	
	11	各種法令等の遵守	研修の実施(汚染防止・人権・情報管理等) 委託事業者への法令順守の取組	3回/年 実施		3回(新任職員研修(情報プライバシー推進、情報セキュリティ・個人情報保護)、情報セキュリティ・個人情報保護) 委託事業者への法令順守の取組(日常指導)	100%	◎	×1		○	
	12	都への報告・連絡	実績報告書の提出 事業報告書の提出	1回/月 1回/四半期	基本協定書第17条	実績報告書の提出:1回/月 事業報告書の提出:1回/四半期	100%	◎	×1		○	
		【特記事項】 ○「7 個人情報保護の取組」について、コンプライアンス推進月間に合わせ、「情報管理に係る事故防止週間」を設定し、個人情報及び重要情報を含む文書の外部への発出に関する意識強化を図った。										
適切な財務・財産管理		適切な財務運営・財産管理が行われているか										
	13	収支状況	収入計画(利用料金) 支出計画	2,385千円 5,992,560千円	予算関係資料(第1回収入内訳)の割合等 年間事業計画書	1,294千円 5,400,683千円	54% 90%	◎	×1			○
	14	適正な会計処理	会計監査人による監査の実施 帳簿、関係書類の整備 自己点検の実施	1回/年 帳簿整備 1回/年	しごと財団財務規定第58条	会計監査人による監査の実施:1回 帳簿、関係書類の整備 自己点検の実施:1回	100%	◎	×1		○	
15	都有財産の管理	台帳の整備・更新(備品・物品・電気予メーター・水道予メーター等)	各台帳の整備・更新	施設整備及び物品 管理業務実施要領	台帳の整備・更新	—	◎	×1		○		
		【特記事項】										

○「7 個人情報保護の取組」について、コンプライアンス推進月間に合わせ、「情報管理に係る事故防止週間」を設定し、個人情報及び重要情報を含む文書の外部への発出に関する意識強化を図った。

東京都しごとセンター 一次評価シート

大項目	中項目	確認項目						評価					
		項目	内容	計画	(計画値参考)	実績(R5)	達成率	確認事項 ◎:報告書 ○:実地調査	配点	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
事業効果	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか											
		16-1	若年者の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙1のとおり		◎	×2		○	
		16-2	中高年の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙2のとおり		◎	×2		○	
		16-3	高齢者の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙3のとおり		◎	×2	○		
		16-4	総合相談における支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙4のとおり		◎	×2		○	
		16-5	女性の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙5のとおり		◎	×2		○	
		16-6	しごとセンターの多摩地域展開の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙6のとおり		◎	×2		○	
		16-7	しごとセンターの管理運営に関する事業の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙7のとおり		◎	×1	○		
		17	利用者の平等利用への取組(公平な利用者選定)	協定、実施要領等の遵守	協定、実施要領等の遵守	東京都しごとセンター提供施設等貸出要領	協定、実施要領等の遵守		○	×1		○	
		18	サービス向上に向けた取組	・関係機関情報コーナーの設置 ・休憩コーナーの設置 ・サイン表示の充実等 ・出張カウンセリング・出張セミナー ・顧客満足度調査、利用者の声コーナー等の設置等	左記と同じ	(選定時)事業計画書5(2)	・出張カウンセリング・出張セミナー(ヤング177回実施) ・顧客満足度調査の実施 ・ご利用者ご意見箱の設置及び対応の公表 ・関係機関情報コーナーの設置 ・サイン表示の充実(1階ディスプレイでの案内表示)等		◎ ○	×2		○	
	19	利用の状況	利用者数(環境の変化など外部要因を考慮) 貸出施設稼働率	新規利用者数 26,067名 貸出施設稼働率 31.5%(多摩)	過去3ヵ年の平均 令和4年度実績	・新規利用者数31,962人 ・(多摩)稼働率35.70%(令和4年度実績)	123% 113%	◎	×1		○		
	20	利用促進への取組(広報、PR等)	メールマガジン・ホームページの更新、広報・PR活動等	・メールマガジン:1回/月 ・ホームページの更新:随時 ・広報、PR活動の実施	(選定時)事業計画書5(3)	・メールマガジン:1回/月 ・ホームページ等の更新:随時 ・広報、PR活動の実施 ・しごとセンターの紹介動画(15秒version、30秒version)を作成し、次年度YouTube広告等に活用予定。		○	×2		○		
	【特記事項】 ○「18 サービス向上に向けた取組」について、低層階の大規模工事改修終了により関係機関情報コーナーを再設置したことに加え、サイン表示の充実等について新たに総合案内脇にデジタルサイネージを設置してより充実を図ったことを評価する。なお、休憩コーナーの設置については、4階と5階の工事終了後の令和6年7月再設置に向けて調整を進めた。 ○「19 利用の状況 貸出施設稼働率」について、令和5年度は飯田橋は大規模改修により貸出休止であったため評価を実施せず、多摩は令和4年度から貸出を開始したため令和4年度実績を計画値として評価を実施する。 ○「20 利用促進への取組(広報、PR等)」について、YouTube広告に活用できる15秒と30秒の紹介動画を作成する等、効果的な事業PRに向けて取り組んだことを評価する。												
	利用者の反応	利用者の満足を得られているか。											
		21	利用者ニーズ把握	貸出施設利用者アンケート満足度 東京しごとセンター利用者アンケート	・貸出施設利用者アンケート満足度 90.3%以上 ・東京しごとセンター利用者アンケート満足度 88.8%以上	過去3ヵ年の平均	・貸出施設利用者アンケート満足度 100.0% ・東京しごとセンター利用者アンケート満足度 88.5%	111% 100%	◎	×2		○	
		22	苦情等への対応	事例検討会の実施	1回/月		・各コーナーの困難者事例検討(5回) ・ヤングコーナーの事例検討(12回) ・シニアコーナー事例検討会(10回)	225%	◎	×1		○	
	【特記事項】 ○「21 利用者ニーズ把握」について、貸出施設利用者アンケートでは全ての利用者が総合的な満足度に対して「非常に満足」「満足」と答えており、利用者から高い評価が得られている。 ○「22 苦情等への対応」について、アフターコロナの影響も受けて心理的に不安定な利用者からの意見や苦情の増加傾向に伴い、困難者事例が増加傾向であったため、各コーナーでの事例を共有する等、事例検討会を重ねて対応した。												
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。											
23		都の政策との連動に向けた取組	都との連携(しごとセンター運営会議等) 区市町村との連携(市町村事例検討会・区市町村会議・センター内での連携(入居機関会議)等)	・しごとセンター運営会議:1回/月 ・市町村事例検討会:2回/年 ・区市町村会議:1回/年 ・入居機関会議:2回/年		・しごとセンター運営会議:1回/月 ・市町村事例検討会:2回/年 ・区市町村会議:1回/年 ・入居機関会議:2回/年 (第1回は書面開催、第2回は令和4年2月末より一時滞在施設の指定解除により、一時滞在施設対応訓練が実施されなかったため、開催せず)	100% 100% 100% 100%	◎	×1		○		
24		都の施策への協力	都の施策と連携した対応	随時		・「長期失業者等に向けたフォローアップ支援」事業に係る連絡調整会議(6回)	—	◎	×2		○		
【特記事項】 ○＜評価の特例＞「23 都の政策との連動に向けた取組」について、入居機関会議は、大規模改修工事の開始に伴い一時滞在施設の指定が解除されたことにより、2回目の実施を中止したことから達成率を100%に補正換算して評価する。 ○「24 都の施策への協力」について、職業能力開発機関との連携強化等、東京都の雇用就業支援事業を着実に実施したことを評価する。													

特記事項	○窓口業務の運営、カウンセリングや各種セミナー、面接会等の事業を着実に実施し、東京都の雇用就業支援事業を推進したことは評価できる。 ○「都の施策への協力」について、職業能力開発機関との連携強化等、東京都の雇用就業支援事業を着実に実施したことを評価する。 ○「サービス向上に向けた取組」について、低層階の大規模工事改修終了により関係機関情報コーナーを再設置したことに加え、新たに総合案内脇にデジタルサイネージを設置して、サイン表示についてより充実を図ったことを評価する。 ○引き続き、雇用情勢の変化や利用者の状況、今後の都施策等の展開に十分留意し、その時々状況に合致した、より効果的な事業の実施が行われるよう、積極的な取組に努められたい。
要改善事項等	

【一次評価結果】

評点	標準点	評価基準				一次評価結果	得点	「S」・「A」 「B」・「C」
		S	A	B	C			
	41点	55点以上	52点以上 54点以下	37点以上 51点以下	36点以下		53点	

- ※ 評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点を標準点とする。
- ※ S：標準点の1.33倍(小数点以下切上げ)点以上
A：標準点1.25倍(小数点以下切上げ)点以上 かつ 標準点の1.33倍(小数点以下切上げ)-1点以下
B：標準点0.88倍(小数点以下切捨て)+1点以上 かつ 標準点の1.25倍(小数点以下切上げ)-1点以下
C：標準点の0.88倍(小数点以下切捨て)以下

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	公益会計基準を導入しており、公認会計士による外部監査を取り入れ、適切に経理処理を行っている。 また、財務状況についても問題ない。
------------	---

2. 特命要件の継続

特命要件の継続	特命要件が継続しているか		
	特命の前提となった施設の位置づけ	変更なし	変更あり
	東京都政策連携団体の特性と果たした役割	団体の特性が十分に発揮されている	団体の特性が十分に発揮されていない
	都との連携体制	実施	未実施
	事業の取組状況・進捗度	適切な実施状況	不適切な実施状況
	<評価の内容> しごとセンターは、雇用情勢の変動や都民ニーズに応じて、機動的に事業を行う施設であり、特命の前提となった施設の位置づけに変更はない。 また、雇用就業分野における唯一の都の政策連携団体として、高齢者や障害者の就業支援のノウハウを活用しながら国や都、民間事業者等と連携した事業展開を行っており、特命要件は継続している。		

区分	規模(概ね)	内容	実績(R5)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
若年者の雇用就業支援								
若年者の雇用就業支援事業								
様々な職業情報の提供								
情報コーナーの設置		職業適性診断システムの導入、 閲覧用図書及び求人情報誌等の整備・充実 等	実施	100%		○		
就職スキルアップ支援								
就職支援アドバイザー	20ポスト	求職者への個別就職指導(カウンセリング、導入相談等)、 グループカウンセリングによる就職指導、 各種セミナー等の企画、調整、実施、 ハローワーク等連携機関との連絡、調整 若者しごとホットラインの実施 等	20ポスト	100%		○		
出張型支援	120回	公的機関を活用することに対して消極的な層や無関心な層、就職活動に自信を喪失している層に向けて、しごとセンターのサービスを出張型で提供する。併せて新規登録を促し、求所を誘導する	177回	148%	○			
就活実践力養成講座	100回	就職に役立つ知識やスキルを学ぶことができる1回完結型セミナーを開催	106回	106%		○		
能力開発コース	50人	資格等を活用した就職を希望される方向けに資格取得等のための支援講座等を開催	9人	18%			○	
若年者就職力アップ事業	100人	無職または非正規雇用者として働く若者に対し、コミュニケーション等の基礎能力や職務能力を向上させるためのプログラムを提供	102人	102%		○		
若年者早期就職支援事業	252人	非正規雇用者として働く若者に対し、短期間のグループワークと個別カウンセリングの組み合わせ及びU-35と連携したメニューを提供	257人	102%		○		
新卒学生フォローアップ事業	40人	就職活動が進まない学生に対して、仲間づくりやグループディスカッション対策のためグループワークを主体とした短期集中型のプログラムを提供	55人	138%	○			
若者と企業マッチング支援								
若年者合同面接会	4回	若年者を対象とした合同面接会を開催	4回	100%		○		
合同企業説明会	若年者向け合同企業説明会 10回 新卒向け合同企業説明会 6回	大企業指向等によるミスマッチ解消のため、若年者の採用に意欲的な中小企業と若年者が交流できる合同企業説明会を実施	若年者向け合同企業説明会 10回 新卒向け合同企業説明会 6回	100%		○		
中小企業見学	50回	中小企業の理解を促すため、企業に赴いて、中小企業の現場を体験できる見学会を実施	128回	256%	○			
合同企業説明会直前対策セミナー	10回	合同企業説明会を効果的に活用し、応募の促進につなげるための、直前対策セミナーを実施する。	10回	100%		○		
面接対策セミナー	13回	面接会等を通じた就職決定を支援するため、就職面接会の上質な活用方法と、模擬面接をセットにしたセミナーを実施する。	13回	100%		○		
業界職種研究ライブラリーの設置	企業研究や職種研究に特化した カウンセリング 登録企業数 1000社 業界職種勉強会 24回	都内中小企業等の事業内容や自社PR等の公開及びアドバイザーを通じた求職者への情報提供 セミナーと企業訪問をセットにした業界職種勉強会の実施	企業研究や職種研究に特化した カウンセリング 登録企業数 1151社 業界職種勉強会 24回	115% 100%		○		
採用・育成サポートセミナー	12回	合同企業説明会等を通じた採用ノウハウを伝達するセミナーを実施する。また、早期離職防止のため、人材育成に力を入れている企業の社長等を講師に迎えセミナーを実施する。	12回	100%		○		
採用・育成に関する好事例の提供	40回	若年者の採用や人材育成に関する企業の好事例を取材し、ライブラリー登録企業に対してメールマガジンを配信する。	40回	100%		○		
若年者の職場定着支援事業								
社会人基礎力プログラム	基礎編 3回 応用編 3回	中小企業に在職する概ね29歳以下の正社員のうち、入社1年以内の者に対し、社会人としての基礎力向上を支援するメニューを実施	基礎編 3回 応用編 3回	100%		○		
キャリア形成プログラム	基礎編 3回 応用編 3回 職種別セミナー 3回	中小企業に在職する概ね29歳以下の正社員のうち、入社3年以内の者に対し、キャリア形成等を支援するメニューを実施	基礎編 3回 応用編 3回 職種別セミナー 3回	100%		○		
参加者交流会	3回	経営者や先輩社会人との意見交換や同世代とのグループワーク等、交流会を実施	3回	100%		○		
育成担当者向け早期離職防止セミナー	2回	若手社員の育成担当者向けに早期離職を防止するための人材育成ノウハウ等を提供	2回	100%		○		
管理者向け早期離職防止セミナー	2回	管理者向けに早期離職を防止するための人材育成ノウハウ等を提供	2回	100%		○		
早期離職防止ガイドブック	2000部	早期離職防止のノウハウ等をまとめたガイドブックを作成し配布	2000部	100%		○		
就活バックアップ事業	大学等就職支援者向けセミナー 2回 企業交流会 2回 保護者向けセミナー 1回 保護者向け中小企業見学 2回	新卒者等の就職活動の間接的支援を促進するため、大学等就職支援者及び新卒者等の保護者を対象とした事業を実施	大学等就職支援者向けセミナー 2回 企業交流会 2回 保護者向けセミナー 2回 保護者向け中小企業見学 2回	114%	○			
高校生向け就業意識啓発講座	20校	都内高校に講師を派遣して、高校生の就業意識を醸成する内容の啓発講座を、学校の要望に沿った形で実施	22校	110%	○			
就活アプローチ事業	プログラム 4回 セミナー 2回	就職活動に踏み出せない若年者に対し、専門的なノウハウを有する専門機関を活用し、支援メニューを実施	プログラム 4回 セミナー 2回	100%		○		
オンライン化対応		セミナー等オンラインによる事業実施	実施	100%		○		
項目数				計 26 項目	5	20	1	
点数 (標準点 26 点)				33点以上・水準を上回る 23点から32点・水準どおり 22点以下・水準を下回る	10	20	0	30点
								評価: 水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点): 110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点): 109%～91%、水準を下回る(0点): 90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)＋1」点以上 かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)－1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)1点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R5)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
中高年の雇用就業支援								
中高年の雇用就業支援事業								
アドバイザーによる支援								
キャリアカウンセラーの配置	32ポスト	就職支援アドバイザーとしての役割を持つキャリアカウンセラーを配置 求職者に対する個別カウンセリングを実施 求人情報等の提供や職業紹介を実施	32ポスト	100%		○		
求職活動支援セミナー								
小規模セミナー	372回	「自己理解促進」、「就職対策支援」、「応募活動支援」、「自律活動支援プログラム」、「在職者支援」を開催	512回	138%	○			
大規模セミナー	6回	求人市場の現状確認や今後の求職活動の進め方などに関するセミナーを開催	6回	133%	○			
能力開発コース								
再就職基礎講座	300人	求人市場で求められている職業人としての能力を身につける短期講座を開催	719人	240%	○			
スキルアップ講座	200人	パソコン操作技術に乏しい求職者に対し、ビジネスで役立つパソコン技術を身につける講座を開催	937人	468%	○			
資格取得等支援講座	200人	資格等を活用した就職を希望される方向けに資格取得等のための支援を実施	118人	58%			○	
雇用就業情報の提供		求職活動に活用できる情報を提供	実施	100%		○		
小規模就職面接会の実施	6回	隔月開催で小規模の合同就職面接会を開催	6回	100%		○		
ミドルアフターのキャリアチェンジ支援								
ジョブコーディネーターによる支援	3ポスト	就職困難層へきめ細やかなサポートを行い、キャリアチェンジを促すとともに、企業と求職者とのマッチングを実施	3ポスト	100%		○		
キャリアチェンジセミナー	180人	ミドルアフター層向けに、キャリアチェンジを念頭に置いたセミナーを実施	189人	105%		○		
職種理解・職場体験プログラム	60人	キャリアチェンジセミナーの受講者を対象に、企業内実習の機会を提供	210人	350%	○			
合同企業説明会	180人	キャリアチェンジ促進を目的とした合同企業説明会実施	103人	57%			○	
非正規就業向けアプローチセミナー	360人	就職氷河期世代を対象に、各自のマネープラン作成、世代別の生活設計、キャリアアップ等についてのセミナーを実施	248人	68%			○	
ミドル版ワークスタート支援プログラム	45人	中高年の就職困難層を対象に、就労準備支援として、自信回復、職場で必要な基礎能力の付与及び就労体験等を組み合わせたプログラムを提供	46人	102%		○		
氷河期世代向け合同面接会	420人	氷河期世代向けに更なる支援の拡充を図るために合同面接会を実施	589人	140%	○			
オンライン化対応		セミナー等オンラインによる事業実施	実施	100%		○		
非正規向け特別支援								
非正規向け求職活動支援								
非正規向け求職活動支援セミナー	6回	正社員の経験が少ない求職者を対象に、求職活動に必要な情報を提供	6回	100%		○		
非正規向けパソコン講座	スキルアップ講座 130人 資格取得等支援講座 80人	就職にあたっての必須とされているパソコンスキル等を付与する講座を開催	スキルアップ講座 156人 資格取得等支援講座 150人	122% 188%	○			
就活エクスプレス事業								
グループワーク	500人	キャリアの振り返り(「強み」の発見)や職場訪問等による中小企業理解、応募書類作成等、5日間のグループワークを実施	306人	62%			○	
ジョブコーディネーターによる支援	6ポスト	中小企業の採用や人材活用等に精通した者を配置し、個別の求人開拓や正社員登用型求人の活用によりマッチングを支援	7ポスト	117%	○			
合同面接会	12回	非正規雇用経験者の正社員採用に意欲的な企業を開拓し、合同面接会を開催	12回	100%		○		
短期集中コース	120人	グループワークへの継続参加が困難な者に対し、短期集中型セミナー(1日)を実施	142人	118%	○			
		項目数	計 22 項目		9	9	4	
		点数 (標準点 22 点)	28点以上: 水準を上回る 20点から27点: 水準どおり 19点以下: 水準を下回る		18	9	0	27点 評価: 水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点): 110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点): 109%～91%、水準を下回る(0点): 90%以下

※2 合計 水準を上回る: 「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり: 「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ 「標準点の1.25倍(小数点以下切上)－1」点
水準を下回る: 「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R5)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
高齢者の雇用就業支援								
高齢者の雇用就業支援事業								
中小企業向け人材開発								
人材開発コースの開発等	1プロジェクト 1コース 1団体	協働関係団体から推薦された委員等で構成する人材確保 共同PT推進委員会、コース開発(改善)PT委員会を設置 し、人材開発コースを開発・改善 新たな協働団体の開拓及び可能性の調査を実施	1プロジェクト 1コース 1団体	100%		○		
人材開発コースの実施	20コース	中小企業向け人材開発コースの実施 コース説明会の開催、コース実施推進員の設置 人材開発コース普及啓蒙リーフレットの作成	20コース	100%		○		
中小企業向けエキスパート人材開発プログラム	4回	中小企業団体の協力により、中小企業に再就職を目指す ために必要な基礎知識や働き方を身につけるための講習 を実施 「人材情報」「修了生情報」の更新及び参加募集	4回	100%		○		
就業支援総合セミナー								
定年退職後の働き方を考えるセミナー	10回・個別相談	再就職活動のプロセスを網羅した内容に、高齢者特有の 再就職状況を加味した総合的なセミナーを実施 セミナー受講後、希望者に個別相談を実施	10回・個別相談	100%		○		
シニア予備群向け出張セミナー	25回	企業等に講師を派遣し、概ね50歳から60歳代前半 の従業員(シニア予備群)を対象に、退職後のキャリア ビジョンや高齢期の働き方を考えるセミナーを実施 することで、退職後の再就職等に向け準備を始める 意識啓発やアドバイスを実施	25回	100%		○		
高齢者向け相談の実施等								
高齢者向け相談の実施		再就職等に係る高齢者からの相談に幅広く対応 職業選択チェックの実施 応募書類作成における個別添削 就活活動の各段階ごとに気づきを促すワークシートの作 成・活用	実施	100%		○		
高齢者向け再就職活動支援セミナー等の実施								
基本セミナー	3100人	就職活動に必要なノウハウを提供するセミナーを開 催	5186人	167%	○			
実践セミナー	360人	テーマごとに実践的なセミナーを開催	244人	68%			○	
就活スタート	720人	就活を始めるに当たり、マインドチェンジやキャリア チェンジの重要性を提供	1350人	188%	○			
就活応用Ⅰ	210人	再就職経験者の体験談とグループワークを通じてイ メージを具体化	303人	144%	○			
就活応用Ⅱ	150人	高齢者の求人が多い業界・職種について、企業側 関係者による解説	170人	113%	○			
シニアの社会参加サポートプログラム	120人	多様な働き方について就業相談機能を活用 基本的知識を養えるためのセミナー及びグループ ワークを開催	148人	123%	○			
シニアのパソコンスキルアップ講座								
入門編	初心者コース5回 入門コース12回		初心者コース5回 入門コース12回	100%		○		
基礎編	ワード基礎コース12回 エクセル基礎コース20回 パワーポイントコース7回	シニアコーナー利用者のパソコンスキル向上を図 り、円滑な就職活動に結びつけるため、新たに「パソ コンスキルアップ講座」を実施	ワード基礎コース12回 エクセル基礎コース19回 パワーポイントコース8回	100%		○		
応用編	ワード応用コース5回 エクセル応用コース8回		ワード応用コース6回 エクセル応用コース8回	108%		○		
65歳以上のシニア対象職場体験事業	100人	65歳以上のシニアを対象とした職場体験を実施	146人	146%	○			
情報提供								
情報提供		高齢者就業に関する情報を就業相談時に業務端末 から相談者に対し提供	実施	100%		○		
業務支援		相談者の登録管理、人材開発コースの受講者管理 相談業務統計等の集計処理業務等	実施	100%		○		
生涯現役社会推進事業	1800人	国との連携により、高齢者のマインドチェンジやキャ リアチャンスを促すセミナーを都内全域で実施	2248人	125%	○			
シニア合同面接会	320人	年4回、シニアの合同面接会を開催し、企業と高齢 求職者の迅速なマッチングを図る。	432人	135%	○			
はつらつ高齢者就業機会創出の支援								
情報システムの運用等								
情報提供		ハローワーク求人情報を高齢システムを通じてアク ティブシニア就業支援センターに選別・配信	実施	100%		○		
業務支援		アクティブシニア就業支援センターの無料職業紹介 事業に係る各種情報を高齢システムで管理 相談業務統計等の集計処理業務に蓄積データを活 用	実施	100%		○		
ネットワーク		アクティブシニア就業支援センターと通信回線を接 続し、高齢者就業相談業務の支援、情報の共有化、 業務の効率化・高度化を実現	実施	100%		○		
自所開拓求人の実施に向けた支援	2回	広域広範の実施によるアクティブシニア就業支援セ ンターの認知度向上、求人開拓支援を図る	2回	100%		○		
地域別合同就職面接会の共催	2回	アクティブシニア就業支援センターと共催し、地域の 高齢者と求人事業所との合同面接会を実施	6回	300%	○			
アクティブシニア就業支援センター職員の 育成	新任研修 年2回 開所準備 随時 実務研修 年6回	アクティブシニア就業支援センター職員に対して、職 業相談等の基礎知識・技法を付与するための研修 を実施	新任研修 年2回 実務研修 年6回	100%		○		
シニア就業支援キャラバン	960人	アクティブシニア就業支援センターと連携し、地元近 隣企業への就業を目的としたセミナー、合同面接会 及び就職相談を実施	1215人	127%	○			
オンライン化対応		セミナー等オンラインによる事業実施	実施	100%		○		
項目数		計 28 項目	10	17	1			
点数 (標準点 28 点)		35点以上:水準を上回る 25点から34点:水準どおり 24点以下:水準を下回る	20	17	0			37点 評価:水準を上回る

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%～91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)ー1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R5)	達成率	評価			備考	
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る		
多様な働き方に対する支援									
総合相談窓口等の設置									
相談員の配置	6ブース	利用者の導入部分における総合的な相談を実施 年齢横断的サービスなどについての初期相談を実施	6ブース	100%		○			
情報コーナーの運営		パソコンでの応募書類作成や書籍閲覧などができ る情報コーナーを運営	実施	100%		○			
事業所相談		事業主を対象とした事業について相談・情報提供 求人預かり	実施	100%		○			
専門相談窓口の設置									
起業・創業への支援	週3日	起業・創業希望者への個別相談を実施	週3日	100%		○			
職業適性相談	週5日	職業適性検査を実施 職業適性に関する個別相談を実施	週5日	100%		○			
NPO・ボランティアなど多様な働き方相談	週5日	NPO・ボランティア等の多様な働き方に関する情報 を提供	週5日	100%		○			
社会保険・年金相談	週2日	生活設計の基礎となる保険・年金等に関する相談 を実施	週2日	100%		○			
メンタルケア相談	週2日	しごとセンター利用者のうち、メンタル不安等就職困 難者に対する支援等を実施	週2日	100%		○			
多様な働き方情報の収集・提供									
多様な働き方セミナー	24回 25回(区市町村分)	様々な働き方、ワークスタイルについて情報提供を行うと ともに、働くことに関わる関連知識、ノウハウについて身 につけることのできるセミナー(区市町村と連携したセミ ナーも含む)を開催	24回	100%		○			
多様な就業に関する情報の収集		各種団体のヒアリングや実態調査を実施 情報コーナー圖書の整備・充実により最新の情報を収 集	実施	100%		○			
NPOなどでの就業体験	20人	NPO等での就業を希望する者などを対象に短期間 の就業体験機会を提供	5人	25%			○		
就業を支援する情報サイトの運営		求人情報など多様な就業を促進するサイトを運営	実施	100%		○			
就職件数など事業実績の把握		求職者の就業状況を把握 就職後の定着状況についての把握、分析を実施	実施	100%		○			
SNS等を活用したオンライン就職支援窓口の設置									
オンライン就職支援窓口の設置	週6日 3ポスト	専任のキャリアカウンセラーを配置し、全ての求職 者を対象に、LINE、電話、オンラインで相談できる 「オンライン就職支援窓口」を設置し、就職活動全般 についてのキャリアカウンセリングを実施	週6日 3ポスト	100%		○			
求職活動支援セミナー(オンライン配信)	6コンテンツ	雇用情勢の説明、就活のノウハウ提供、各種支援 策の紹介、しごとセンター事業紹介等にかかるセミ ナーをオンラインで配信	求職活動支援セミナー動画 (制作18本、 配信27本、視聴回数:90,963件)	450%	○				
業界連携再就職支援事業									
業界連携再就職支援事業	短期講習プログラム 12コース 程度 合同企業面接会 12回程度	人材を確保したい業界団体と連携し、業界知識と技 能を付与する短期間の講習プログラムと業界傘下 企業とのマッチングを組み合わせた再就職支援を 実施	短期講習プログラム 12コース 合同企業面接会 12回	100%		○			
デジタル・ビジネススキル習得支援事業									
デジタル・ビジネススキル習得支援事業	2週間コース 14回 1か月コース 26回	キャリアカウンセリングを受診した求職者に対し、デ ジタル・ビジネススキルを習得する講習を開講	2週間コース 14回 1か月コース 26回	100%		○			
ローコードによるアプリ作成スキル習得支援事業									
ローコードによるアプリ作成スキル習得支援	200人	オフィスソフトの知識ある求職者に対し、ノーコード・ ローコードによるアプリ作成スキルを提供する講習 を実施	219人	110%		○			
就労困難者特別支援事業									
就労困難者特別支援事業	180人	就労困難者に対する支援窓口を設置し、キャリアカ ウンセラー等によるチーム支援を構成することで、 利用者の社会的自立及び就労の準備性の向上を 目指す	190人	106%		○			
長期失業者等に向けたフォローアップ支援									
連絡調整会議の運営		雇用就業部、能力開発センターと連携し情報共有 の場を設定、訓練メニューの紹介	実施	100%		○			
各種支援メニューの案内		トライアル就労の提供、専門サポートコーナーへの 案内	実施	100%		○			
「TOKYO 就職 Navi」の運営		専用アプリの運営・改修、各種SNSを活用した支援 メニューの周知、各種広報媒体等を活用したPR	実施	100%		○			
オンライン就職面接支援事業									
オンライン就職面接支援事業	テレワークBOX2台設置	オンライン就職面接の模範実施を可能とするテレ ワークBOXを飯田橋と多摩に設置し、アドバイザー によるオンライン面接対策に活用する	テレワークBOX2台設置	100%		○			
項目数					計 23 項目	1	21	1	23点
点数 (標準点 23 点)					29点以上:水準を上回る 21点から28点:水準どおり 20点以下:水準を下回る	2	21	0	評価:水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%～91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)＋1」点以上 かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)－1」点
水準を下回る「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R5)	達成率	評価			備考	
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る		
女性の雇用就業支援									
女性再就職支援窓口等の運営									
アドバイザーによる支援	5ポスト	就職支援アドバイザーとしてキャリアカウンセラーを配置し、個別カウンセリングを実施 求人情報の提供や職業紹介、仕事と家庭を両立しながら働くためのアドバイス、保育に関する相談の実施等	5ポスト	100%		○			
ミニセミナーの実施	100回	課題別・活動段階別支援のため、少人数のグループワークを中心としたミニセミナーを実施	120回	120%	○				
就職面接会等の実施	10回	書類選考を経ない面接機会確保のため、小規模の就職面接会を実施	32回	320%	○				
雇用就業情報等の提供	4回 (レディGO！Projectプラス4回)	求職活動に活用できる情報の提供 各行政機関等の子育て支援情報や保育施設の情報、仕事と家庭の両立に関する情報の提供等	実施	100%		○			
キッズスペースの設置		子ども連れでも安心して来所できるよう、キッズスペースを設置	実施	100%		○			
啓発セミナー		応援テラスの各種事業や再就職事例、家庭と仕事を両立している著名人による講演等内容をとするセミナーを実施	4回	100%		○			
職場見学の実施		100人	ブランクのあいた女性や子育て中の女性のために職場見学を実施	44人	44%			○	
子育て女性向け再就職支援イベントの実施	150人	区市町村と連携した子育て女性向けの再就職支援イベントを実施	43人	29%			○		
オンライン化対応		セミナー等オンラインによる事業実施	実施	100%		○			
女性再就職支援事業									
女性再就職サポートプログラム等									
女性再就職サポートプログラムの実施									
女性再就職サポートプログラム	11回	基礎知識や業界事情、最新のスキルを身につける能力開発に加えて職場体験までを組み合わせた総合的な支援プログラムを実施	11回	100%		○			
女性再就職サポートプログラム フォローアップセミナー	3回	サポートプログラム受講終了後、未就職の受講生に対して、グループワークを中心としたセミナーなどを実施	11回	367%	○				
女性向け在宅ワークセミナー	45人	家庭の事情等により自宅で働くことを希望する女性向けに、在宅ワーク等に関する基本的な情報を提供するセミナーを実施	58人	129%	○				
レディGo！ワーク塾	3期	働くイメージを築めるとともに、再就職への準備に必要なことを習得できる講座を実施、併せて短期インターンシップを実施	3期	100%		○			
合同就職面接会の実施	6回	早期再就職を目指す女性求職者に対し、1日で複数企業との面談・面接ができる合同面接会を実施する。	6回	100%		○			
託児室の運営等		センターに設置した託児室の運営 子育て女性向け再就職支援イベント等の実施に伴う託児については、施設借り上げにより実施	実施	100%		○			
女性しごと応援キャラバン事業	地域女性就業相談会 83回 キャリアカウンセラー 飯田橋2 ポスト、多摩1ポスト 求人開拓員 飯田橋1ポスト	都内各区市町村においてキャラバン型のセミナー及び就職相談を実施、セミナー等受講後キャリアカウンセリング及び求人開拓の実施	地域女性就業相談会 83回 キャリアカウンセラー 飯田橋2 ポスト、多摩1ポスト 求人開拓員 飯田橋1ポスト	100%		○			
項目数			計 16 項目			4	10	2	
点数 (標準点 16 点)			20点以上：水準を上回る 15点から19点：水準どおり 14点以下：水準を下回る			8	10	0	18点 評価：水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%～91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)－1」点
水準を下回る「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R5)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
しごとセンターの多摩地域展開								
しごとセンター多摩の管理運営		しごとセンター多摩の管理運営						
しごとセンター多摩の建物維持管理								
立川駅南口 東京都・立川市合同施設の建物維持管理		立川駅南口 東京都・立川市合同施設の建物維持管理	実施	100%		○		
しごとセンター多摩事業								
総合相談サービス								
総合案内		利用者の導入部分で総合的にサービスを案内	実施	100%		○		
情報コーナーの運営		パソコンでの応募書類作成や情報検索のほか、書類閲覧も可能な情報コーナーを運営	実施	100%		○		
事業所相談		事業主向けのサービスとして、定着支援等に関する相談に応ずる	実施	100%		○		
全年齢層に対する基幹サービスの提供								
キャリアカウンセリング	12ポスト	利用者の適性や就職に向けた希望条件を勘案しつつ、現実の求人市場を踏まえ、就職活動に関する幅広いサービスを提供	12ポスト	100%		○		
就職ノウハウセミナーの実施	36回	求職者に求人市場の現状確認をさせ、今後の就職活動の進め方などを指導	78回	217%	○			
能力開発コースの実施	24回	就職にあたっての必須要件とされているパソコン操作技術に乏しい求職者に対して技術を付与	24回	100%		○		
土曜就活セミナーの実施	40回	平日に時間の取れない方を主な対象に、毎回仕事に関するテーマを設定して必要な知識を付与	42回	105%		○		
ターゲットを絞ったサービス提供								
既卒等若年者向け就職面接会	20回	既卒者等のうち特に支援が必要な方を中心に、就職面接会を開催	20回	100%		○		
定年等退職者に対する支援	3回	再就職活動のプロセスを網羅した内容に、高齢者特有の再就職状況を加味した総合的なセミナーを実施	3回	100%		○		
アフターフォロー事業	22回	アフターフォローアドバイザーの設置、就職後間もない社員・中小企業向けの定着支援等セミナーの開催	30回	136%	○			
広域多摩就職応援プログラム	10回	カウンセリング、セミナーを併せて行う面接会イベントを、南部地域も含め、多摩地域において広域的に実施	10回	100%		○		
新卒支援事業								
面接対策セミナー	5回	就職面接会の上手な活用方法(企業の回り方)と模擬面接をセットにしたセミナーを実施	5回	100%		○		
合同企業説明会	5回	新卒採用活動中の企業を集めた合同企業説明会を実施	5回	100%		○		
中小企業見学会	15回	新卒者等の中小企業の理解を促進するため、合同企業説明会に参加した企業に赴いて、中小企業の現場を体験できる見学会を実施	26回	173%	○			
大学等就職支援者向けセミナー	2回	東京しごとセンター多摩の就職支援に関するノウハウを活用し、大学のキャリアセンター職員等を対象に、新卒者等の就職支援に関するセミナーを実施	2回	100%		○		
保護者向けセミナー	1回	若年者の志望先決定に大きな影響力を持つ保護者を対象に、若年者の就職の現状や中小企業の理解を高めるセミナーを実施	1回	100%		○		
保護者向け中小企業見学会	1回	若年者の志望先決定に大きな影響力を持つ保護者が、中小企業の現状を把握できるよう、大学等と連携して中小企業の現場を体験できる見学会を実施	1回	100%		○		
多摩地域若者・中小企業交流支援事業								
講師派遣	125回	中小企業交流会に先立ち、効果的事業実施に向けて、中小企業の魅力や適職探しのポイントなどについて学生に理解の場を提供	123回	98%		○		
企業研究・業界研究セミナー	300人	専門家による当日参加予定の企業・業界研究を中心としたセミナーの実施	145人	48%			○	
人事担当者向けセミナー	40社	企業人事担当者向け、自社の魅力の伝え方、人材確保の採用戦略等に関するセミナーの実施	40社	100%		○		
オリエンテーション	300人	参加者同士のコミュニケーションを図り、交流会での企業に対する質問等を考えるワークの実施	150人	50%			○	
若者・企業交流会	10回	多摩地域の学生を対象に、企業経営者等との交流会を実施	10回	100%		○		
企業見学会・職場体験の実施	10回	参加者の希望業界及び職種に対する更なる理解促進を目的として、交流会参加企業への企業見学会・職場体験の実施	35回	350%	○			
地域と連携した就業支援								
就業支援事例検討会	2回	市町村の就業支援担当者向けに、就業支援における課題を検討する事例検討会を開催	2回	100%		○		
企業向けセミナー	1回	多摩地域の企業に対して、中小企業団体等と連携して、企業の好事例の紹介、早期退職者を生み出さないような企業の雇用環境作り等を内容としたセミナーを実施	1回	100%		○		
企業説明会	1回	多摩地域の中小企業に対し、自ら企業PR等を行う場を設け、求職者を多摩地域の中小企業へ誘導するような企業説明会を実施	1回	100%		○		
合同就職面接会	大規模面接会 4回 地域連携型就職面接会 12回	大規模面接会及び多摩地域をブロックに分け、ブロック内自治体や経済団体等と密接に連携した面接会を実施	大規模面接会 4回 地域連携型就職面接会 12回	100%		○		
地域セミナー	20回	面接直前・事前対策として、求職者向けセミナーを実施	20回	100%		○		
女性向けサービス								
女性再就職支援窓口等の運営								
女性しごと応援テラス多摩の設置		多摩地域に、女性に対する専門の相談支援機関を設置し個別カウンセリング及びセミナーを実施するとともに、託児スペース付きで設置	実施	100%		○		

区分	規模(概ね)	内容	実績(R5)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
キャリアカウンセリング	2ポスト	利用者の適性や就職に向けた希望条件を勘案しつつ、現実の求人市場を踏まえ、就職活動に関する幅広いサービスを提供	2ポスト	100%		○		
ミニセミナー	30回	利用者の抱えている課題別・活動段階別の支援として、一方的な知識やノウハウの付与ではなく、グループワークを通して、自らの気づきを促す	40回	133%	○			
啓発セミナー	1回	再就職に関心のある女性を対象に啓発セミナーを実施し、女性の再就職の促進を図る	1回	100%		○		
女性再就職支援事業								
女性再就職サポートプログラム	女性再就職サポートプログラム 6回 フォローアップセミナー 3回	女性が再就職しやすい職種をコーステーマとして、基礎知識や業界事情、能力開発、企業人事担当者との意見交換の場の設置等を組み合わせた総合的な支援プログラムを実施 受講修了者への確実なフォロー体制も構築	女性再就職サポートプログラム 6回 フォローアップセミナー 6回	133%	○			
子育て女性向け再就職支援イベント	1回	区市町村と連携した子育て女性向けの再就職支援イベントを実施	1回	100%		○		
子育て応援！企業交流会	4回	育児等で家庭や地域から出にくい女性を対象に、女性の活用に積極的な多摩地域の企業との交流会を実施	4回	100%		○		
託児室の運営等		託児室の運営を委託	実施	100%		○		
オンライン化対応		セミナー等オンラインによる事業実施	実施	100%		○		
項目数					6	30	2	
点数 (標準点 38 点)					48点以上:水準を上回る 34点から47点:水準どおり 33点以下:水準を下回る	12	30	0
								42点 評価:水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%～91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ 「標準点の1.25倍(小数点以下切上)－1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R5)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
しごとセンターの管理運営								
提供施設等の使用の承認	一式	提供施設(講堂、セミナー室)及び附帯設備の使用承認・貸出	実施	100%		○		貸出施設利用状況のとおり。
「しごとセンター業務システム」の運営		「しごとセンター業務システム」の管理運営	一式	100%		○		
しごとセンターの建物維持管理		しごとセンターの建物維持管理	実施	100%		○		大規模改修工事に伴い、建物内部等でのフロア移転を行っただけでなく、建物管理者として積極的ニ工事に関わったことを評価する。
		項目数	計 3 項目			1	2	0
		点数 (標準点 3 点)	4点以上:水準を上回る 3点から3点:水準どおり 2点以下:水準を下回る			2	2	0
								4点 評価:水準を上回る

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%～91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下